

平成 20 年 9 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 7 月 31 日

上場会社名 株式会社 A C K グループ 上場取引所 J A S D A Q
 コード番号 2 4 9 8 URL <http://www.ackg.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 廣谷 彰彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括管理本部長 長尾 千歳 TEL (03) 6311 - 6641

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 20 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 9 月期第 3 四半期	17,518	18.9	305	-	250	-	304	-
19 年 9 月期第 3 四半期	14,737	-	169	-	121	-	139	-
19 年 9 月期	22,763	-	586	-	653	-	36	-

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 9 月期第 3 四半期	54	23	-	-
19 年 9 月期第 3 四半期	26	67	-	-
19 年 9 月期	6	78	6	75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20 年 9 月期第 3 四半期	14,787	5,852	37.5	1,041	44
19 年 9 月期第 3 四半期	16,228	6,060	35.7	1,026	49
19 年 9 月期	12,967	6,208	45.5	1,051	29

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 9 月期第 3 四半期	2,666	239	999	3,558
19 年 9 月期第 3 四半期	3,064	188	1,092	4,217
19 年 9 月期	713	313	704	2,133

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第3四半期末	
20年9月期第3四半期	円	銭
	-	
19年9月期第3四半期	-	

3. 平成20年9月期の連結業績予想(平成19年10月1日 ~ 平成20年9月30日)【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	25,100	10.3	350	40.4	430	34.2	20	44.7	3	56

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発する世界的な金融不安や、原油価格及び原材料価格の高騰による企業業績の圧迫、個人消費の冷え込みなどにより景気の先行きに不透明感が広がってまいりました。

このようななかにおいて、当社グループを取り巻く環境としては、公共分野において、国・地方自治体が厳しい財政状況にあり、公共事業は依然として下振れ傾向にあるものの、従来の価格競争による入札方式が減少し、技術競争によるプロポーザル方式の業務発注が増加しており、高い技術力を有する企業にとって、受注が拡大しつつあります。また、国際・民間分野においては、中東諸国における経済発展の継続、地球温暖化・環境汚染対策といった環境ビジネス等の市場規模拡大により、ビジネスチャンスが拡大しております。

このような環境のもと、受注においては、上期において㈱オリエンタルコンサルタンツが過去最高の受注高を獲得したほか、㈱中央設計技術研究所、㈱アサノ建工も前年同期を大きく上回っていましたが、㈱オリエンタルコンサルタンツにおいては、道路特定財源問題の影響により、4月、5月の受注額が落ち込んだものの、前連結会計年度において半年分の寄与であった大成基礎設計㈱、吉井システムリサーチ㈱の新規連結会社が全期間連結業績へ寄与したこともあり、連結グループにおける受注高は17,847百万円と前年同期比15.7%であります。売上高においても、前連結会計年度からの繰越業務や上期の受注好調、新規連結会社の寄与により、17,518百万円と前年同期に比べ、2,781百万円(18.9%増)増加しております。

当社グループは、売上高の割合が下期に偏る季節変動特性を有しております。一方で、販売費及び一般管理費は年間を通じて平均的に発生するため、第3四半期まで赤字決算となり、通期において黒字決算となります。前連結会計年度に連結子会社となった大成基礎設計㈱においても同様の特性を有しているため、季節変動特性による業績の振幅は拡大しております。そのため、前年同期に比べ、赤字幅は増大しております。

また、当社連結子会社である㈱ワールドにおいては、価格競争の激化に伴う大型の赤字業務に加え、自治体からの発注単価の低下により全体的に原価率が悪化し、通期において大幅な赤字決算となる見込みとなりました。それに伴い、減損損失70百万円を特別損失に計上しております。㈱ワールドにおいては、繰延税金資産を計上していないため、これらの損失がそのまま当期純利益に影響しております。

これらの結果、受注高は17,847百万円(前年同四半期比15.7%増)、受注残高13,366百万円(同3.9%減)、売上高17,518百万円(同18.9%増)となり、営業損失は305百万円(前第3四半期は営業損失169百万円)、経常損失250百万円(同経常損失121百万円)、四半期純損失は304百万円(同四半期純損失139百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、前年同四半期末に比べて1,441百万円減少して14,787百万円となりました。これは主に短期借入金の返済や未成業務受入金の減少見合いで現金及び預金、MMFに投資していた有価証券が減少したこと、役員退職慰労引当金及び未実現利益消去等による将来減算一時差異の減少に伴い繰延税金資産が減少したことによるものであります。

また、負債は前年同四半期末に比べて、1,232百万円減少して、8,934百万円となりました。これは主に短期借入金の返済、地方自治体からの未成業務受入金の減少によるものであります。

なお、純資産は第3四半期純損失の計上による利益剰余金の減少170百万円、その他有価証券評価差額金の減少33百万円等により前年同四半期末に比べ208百万円減少し、5,852百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年9月期の業績予想につきましては、本日(平成20年7月31日)公表の「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額の僅少なものにつき、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年9月期 第3四半期末〕	当四半期末 〔平成20年9月期 第3四半期末〕	増 減		(参考)前期末 (平成19年9月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	3,731	3,620	110		2,193
受取手形及び 完成業務未収入金	1,546	1,343	202		2,395
有価証券	503	-	503		3
未成業務支出金	4,729	4,621	108		3,352
繰延税金資産	306	419	113		258
その他	361	323	38		217
貸倒引当金	2	9	6		12
流動資産合計	11,177	10,319	857	7.7	8,408
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	1,122	1,078	43		1,111
土地	1,218	1,218	-		1,218
その他	458	356	102		424
有形固定資産合計	2,799	2,653	146	5.2	2,754
無形固定資産					
のれん	271	258	12		302
その他	453	399	53		443
無形固定資産合計	724	658	66	9.1	746
投資その他の資産					
差入保証金	531	567	35		535
繰延税金資産	427	125	301		154
その他	595	485	109		391
貸倒引当金	28	23	4		23
投資その他の 資産合計	1,526	1,155	371	24.3	1,058
固定資産合計	5,050	4,467	583	11.6	4,559
資産合計	16,228	14,787	1,441	8.9	12,967

科 目	前年同四半期末 〔平成19年9月期 第3四半期末〕	当四半期末 〔平成20年9月期 第3四半期末〕	増 減		(参考)前期末 (平成19年9月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び 業務未払金	816	1,134	317		1,131
短期借入金	553	-	553		960
未払費用	567	709	141		425
未成業務受入金	5,988	5,195	793		1,764
その他	886	716	170		1,184
流動負債合計	8,813	7,755	1,057	12.0	5,465
固定負債					
退職給付引当金	112	122	10		123
役員退職慰労引当金	303	257	45		299
負ののれん	585	506	78		565
その他	352	291	61		305
固定負債合計	1,354	1,178	175	13.0	1,294
負債合計	10,167	8,934	1,232	12.1	6,759
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	502	503	0	0.1	503
資本剰余金	780	748	32	4.2	751
利益剰余金	4,606	4,436	170	3.7	4,782
自己株式	126	138	12	9.6	145
株主資本合計	5,763	5,548	214	3.7	5,891
評価・換算差額等					
その他有価証券評価 差額金	26	7	33		5
評価・換算差額等合計	26	7	33	-	5
少数株主持分	271	311	40	14.8	311
純資産合計	6,060	5,852	208	3.4	6,208
負債純資産合計	16,228	14,787	1,441	8.9	12,967

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)	増 減		(参考)前期末 (平成19年 9月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	14,737	17,518	2,781	18.9	22,763
売上原価	10,741	12,899	2,158	20.1	16,281
売上総利益	3,995	4,619	623	15.6	6,481
販売費及び一般管理費	4,165	4,925	759	18.2	5,894
営業利益又は営業損失()	169	305	136	-	586
営業外収益	79	96	17	22.1	108
営業外費用	31	41	10	34.3	41
経常利益又は経常損失()	121	250	129	-	653
特別利益	-	3	3	-	0
特別損失	45	74	29	64.5	49
税金等調整前四半期純損失() 又は税金等調整前当期純利益	167	322	155	-	603
税金費用	11	19	8	-	543
少数株主利益又は 少数株主損失()	15	2	17	-	24
四半期純損失()又は 当期純利益	139	304	164	-	36

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年四半期末 (平成19年9月期 第3四半期)	当四半期末 (平成20年9月期 第3四半期)	増 減		(参考)前期末 (平成19年 9月期)
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
営業活動による キャッシュ・フロー					
税金等調整前四半期純損失() 又は税金等調整前当期純利益	167	322	155	93.0	603
減価償却費	293	300	6	2.3	405
減損損失	-	70	70	-	-
売上債権の増()減額	1,336	1,051	285	21.4	499
たな卸資産の増()減額	1,412	1,268	143	10.2	55
仕入債務の増減()額	582	3	586	-	268
未成業務受入金の増減()額	3,929	3,430	498	12.7	315
その他	8	136	127	-	146
小 計	3,388	3,129	259	7.7	1,014
営業外収入	51	37	13	26.9	66
営業外支出	26	37	10	38.6	38
法人税等の支払額	349	463	114	32.7	328
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,064	2,666	398	13.0	713
投資活動による キャッシュ・フロー					
有形固定資産の取得による支出	55	104	49	89.8	84
無形固定資産の取得による支出	74	116	41	55.8	115
子会社株式取得による支出	104	-	104	-	126
子会社株式取得による収入	61	-	61	-	47
その他	15	18	3	19.7	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	188	239	51	27.4	313
財務活動による キャッシュ・フロー					
短期借入金の純増減()額	897	960	62	7.0	473
長期借入金返済による支出	100	-	100	-	117
自己株式の取得による支出	36	0	36	-	55
配当金の支払額	60	41	19	31.7	60
その他	1	1	0	7.3	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,092	999	93	8.5	704
現金及び現金同等物に係る換算 差額	2	1	1	56.9	0
現金及び現金同等物の増加額	1,780	1,425	355	20.0	303
現金及び現金同等物の期首残高	2,437	2,133	303	12.5	2,437
現金及び現金同等物の期末残高	4,217	3,558	659	15.6	2,133

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期(平成20年9月期第3四半期)

(単位:百万円)

	インフラ・マネジメントサービス	環境マネジメント	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	12,912	4,172	677	17,762	243	17,518
営業費用	13,158	4,169	639	17,967	142	17,824
営業利益又は営業損失()	246	2	38	204	101	305

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 売上高、営業費用、営業利益又は営業損失は平成20年9月期から開示を始めたため、平成19年9月期第3四半期は記載しておりません。
 3 当連結会計年度より、事業区分の名称を「建設事業」から「環境マネジメント事業」に変更しております。この変更による影響額はありませぬ。
 4 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は360百万円であり、これは内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

(参考) 前期(平成19年9月期)

(単位:百万円)

	インフラ・マネジメントサービス	環境マネジメント	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	18,176	4,132	527	22,836	73	22,763
営業費用	17,518	3,989	450	21,958	217	22,176
営業利益	657	142	77	877	290	586

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は278百万円であり、これは内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

〔所在地別セグメント情報〕

該当事項はありません。

〔海外売上高〕

該当事項はありません。